

# 大原台

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862  
TEL:099 - 294 - 2311  
FAX:099 - 294 - 2309  
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (フリーダイヤル)

099-294-2200 (直通)

0570-0-78310 (全国統一ダイヤル)

## 平成24年度 調査研究発表会

全体研究主題「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」

期日：平成25年 1月25日(金)

全体会における教科教育研修課及び教育相談課の研究発表、8分科会において研究発表や事例発表、ワークショップ型研究協議を行いました。県内外から、約340人の教育関係者や学生、保護者の参加を得て、充実した研究発表会となりました。



### 全体会

調査研究の概要説明	各課の研究内容及び「『みんなで取り組み、学び合う授業研究』の進め方」に関するプロジェクト研究の概要を説明しました。
研究発表	教科教育研修課 研究主題：「思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価に関する研究」 思考力・判断力・表現力を適切に評価する方法や、評価結果を生かした具体的な授業改善の方策について発表しました。
	教育相談課 研究主題：「自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究」 「学校楽しいーと」を活用した、いじめや不登校、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応など、生徒指導の在り方について発表しました。

#### 【参加者の声から】

ワークショップ型授業検討会を校内研修等でも試してみたいと思った。

(概要説明に対して)

思考力・判断力・表現力の評価には、迷うことが多かったので、参考になった。

(教科教育研修課研究発表に対して)

「学校楽しいーと」が様々な場面で活用できることが分かり、参考にしたいと思った。

(教育相談課研究発表に対して)



【鹿児島大学教育学部大坪先生からのコメントの様子】

### 分科会

【参加者の声から】  
参加された先生方の多様な考え方に触れることができ、よい勉強になった。  
小中高の実践事例を聞くことができ、教科の系統性を知るよい機会となった。



【事例発表】



【ワークショップ型研究協議】

分科会名	教科等	協議内容等
第1分科会	国語科	研究主題：「思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価に関する研究」 各教科における「思考・判断・表現」を見取る判断基準の設定と、それに基づく評価を生かした授業づくりについて協議しました。
第2分科会	社会・地歴・公民科	
第3分科会	算数・数学科	
第4分科会	理科	
第5分科会	外国語活動、外国語科	
第6分科会	情報教育	研究主題：「情報活用能力の育成に関する研究」 各学校段階において期待される情報活用能力と、これを児童生徒に身に付けさせるためのICT活用を通じた指導方法等について協議しました。
第7分科会	特別支援教育	研究主題：「特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方に関する研究」 特別支援学校小学部入学から高等部卒業までを見通した一貫性・系統性のある指導の充実を図るため、特別支援学校の現状と課題を踏まえた授業づくりについて協議しました。
第8分科会	教育相談	研究主題：「自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究」 児童生徒理解の深化を図るための「学校楽しいーと」の効果的な活用と、児童生徒への指導・援助について協議しました。

# 平成25年度「教職員研修事業」の案内 ～教職員の資質向上を支える研修を推進します！～

## 経験年次別研修

フレッシュ研修 (初任校：1年目研修)	① 4月1日(月)[全校種] ② 5月28日(火)～30日(木)[小・特] ③ 5月29日(水)～31日(金)[中・高] ④ 6月20日(木)[高・特] ⑤ 7月23日(火)～26日(金)[全校種] ⑥ 11月14日(木)・15日(金)[特] ⑦ 11月27日(水)・28日(木)[高]
ステップアップ研修 (5年経験者研修)	8月5日(月)[中・高・特] ・小学校は、各教育事務所単位で実施
パワーアップ研修 (10年経験者研修)	① 7月22日(月)～26日(金)[小・特] ② 7月29日(月)～8月2日(金)[中・高]
人権教育教職員等研修会	① 7月5日(金)[大島会場] ② 8月9日(金)
新規採用養護教諭研修	① 4月1日(月) ② 6月12日(水)～14日(金) ③ 8月26日(月)～29日(木) ④ 10月22日(火)～25日(金)

養護教諭ステップアップ研修	8月5日(月)～7日(水)
養護教諭パワーアップ研修	① 7月22日(月)～26日(金) ② 8月6日(火)～8日(木) ③ 11月12日(火)・13日(水)
新規採用栄養教諭研修	① 4月1日(月) ② 6月12日(水)～14日(金) ③ 8月26日(月)～29日(木) ④ 10月22日(火)～25日(金)
栄養教諭パワーアップ研修	① 7月22日(月)～26日(金) ② 8月26日(月)～28日(水) ③ 11月12日(火)・13日(水)
新規採用事務職員研修会	5月8日(水)～10日(金)
4・5年目事務職員研修会	7月5日(金)
幼稚園新規採用教員研修	① 4月18日(木) ② 6月5日(水) ③ 7月25日(木)・26日(金) ④ 8月19日(月)～21日(水) ⑤ 11月22日(金) ⑥ 1月15日(水)
幼稚園10年経験者研修	8月6日(火)～9日(金)



【フレッシュ研修(1年目研修)】



【パワーアップ研修】



【新任校長研修会】

## 職務別研修

新任校長研修会	5月7日(火)・8日(水)
新任教頭研修会	5月8日(水)～10日(金)
経験者教頭研修会	6月6日(木)・7日(金)
人権教育管理職研修会	6月4日(火) 7月4日(木)[大島会場] 8月20日(火)[熊毛会場]
特別支援学級等新任 担当教員研修会	5月14日(火)・15日(水) [特別支援学級担任] 5月23日(木)・24日(金) [通級指導教室担当]
訪問教育等担当教員研修会	6月25日(火)・26日(水)
高等学校、特別支援学校保健・ 保健体育担当者研修会	6月27日(木)
高等学校、特別支援学校 養護教諭等研修会	6月7日(金)
県立学校情報化担当者研修会	5月22日(水)・23日(木)

悉皆研修

希望研修

## 専門研修

### ■ 短期研修 ～今日的教育課題に応える専門的・実践的内容の多彩な講座を開設します。～

平成25年度は、全133講座を開設し、前期・後期に分けて募集します。  
新たに「基礎・基本」定着度調査を指導法改善に生かす講座を、センター実施講座のほか移動講座でも実施する予定です。

#### 【実施期間・申込期間】

	実施期間	申込期間	
		市町村立学校(園)	県・私立学校(園)
前期分	5/29(水)～8/30(金)	4/1(月)～4/22(月)	4/1(月)～4/23(火)
後期分	9/2(月)～11/29(金)	5/31(金)～6/24(月)	5/31(金)～7/1(月)

#### 【申込方法】

申込みは、Webページからの申込みになります。申込みには、学校ID・パスワードが必要です。  
〈当教育センターURL〉 <http://www.edu.pref.kagoshima.jp>



【豊かな表現力を育む小学校音楽科講座】



【わくわく・どきどき図画工作科講座】

### ■ 土曜講座 ～土曜日における研修を希望するニーズに応えるため多彩な講座を開設します。～

すぐに役立つ講座を年間約200講座開設しています。その中から自由に選択して受講することができます。

開設講座等の詳細は、各期(Ⅰ期～Ⅲ期)ごとにWebページで確認してください。



【あなたならどうする?「伝統的な言語活動」の授業～俳句編～講座】



【「アセスメントシート」活用講座(特別支援教育)】

【講座の期間】  
講座の時間は、次のとおりです(講座によっては、異なる場合があります。)。・午前(9:30～12:00)・午後(13:30～16:00)  
・終了(9:30～16:00)

【申込方法】  
開催日1週間前までに、「土曜講座申込書」で、直接、郵送、FAXまたは、Webページ(ただし、Ⅲ期は郵送、FAXのみとする。)でお申し込みください。「土曜講座申込書」は、Webページに掲載しています。

【郵送】 〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862  
鹿児島県総合教育センター 企画課  
【電話】 099-294-2312 (企画課直通)  
【FAX】 099-294-2374 (企画課専用)  
【URL】 <http://www.edu.pref.kagoshima.jp>

### ■ 中学校免許外教科担任教員等研修会

5月22日(水)・23日(木)  
※家庭科については、大島会場でも実施します。  
[5月28日(火)・29日(水)]

### ■ 園長等運営管理協議会

6月19日(水)

### ■ 保育技術協議会

8月16日(金)



【中学校免許外教科担任教員等研修会】



【園長等運営管理協議会】

## 課題研修

### ■ 長期研修

各教科等に関する教育実践上の課題を踏まえた研究主題について研究を進めるとともに、教育全般についての研修等を実施し、教員としての資質を高め、本県教育の充実・発展に寄与する人材の育成を図ります。

研修期間：平成25年4月～平成26年3月(1年間)

平成25年度研修予定者：小・中・高・特別支援学校の教員11人



【研修報告書等を研修者と所員がチームとなって検討するチーム検討会の様子】

### ■ 高等学校情報教育継続研修

継続的に専門的研修を行い、最新の情報や技術を習得させ、急速に進展する情報化に対応した情報教育を推進する人材の育成を図ります。

研修期間：平成25年5月～平成26年2月(年間19回)

平成25年度研修予定者：高等学校教員11人



【所員の指導の下、パソコン操作に熱心に取り組む研修の様子】

## 「研修案内」のお知らせ

来年度も、「研修案内」～学び続ける教職員であるために～を県内の全ての教職員の皆さんに配布する予定です。当教育センターが実施する研修を、分かりやすく、整理して掲載しています。また、携帯に便利なポケットサイズ(A6版)となっていますので、御活用ください。



【平成24年度版「研修案内」】

# 1年間の研究成果を発表！

## 高等学校情報教育継続研修発表会

期日：平成25年2月1日（金）

平成24年度高等学校情報教育継続研修者11人が、本年度の研究を基に「課題研究」として取り組んだ成果を約60人の学校関係者の参加者の前で発表しました。

	所属	氏名	発表テーマ
情報システムコース	武岡台高等学校	小田 譲二	HTML5による学校ホームページ作成とWebコンテンツ
	川内商工高等学校	麓 光樹	PICによるDCモータの制御（正転・逆転・速度制御）
	出水工業高等学校	横山 彰二	マイコン制御と電子回路組立
	霧島高等学校	大園 竜二	PICマイコンを用いた6足走行ロボット製作
	加治木工業高等学校	北吉 美大	距離センサを用いた家庭用電源の制御
	隼人工業高等学校	大坪 睦貴	ライントレーサーカーの製作
情報コンテンツコース	川内商工高等学校	吉川 博文	練習試合ソフトの作成
	串良商業高等学校	山川 和幸	マークシート認識処理の研究
	鹿児島女子高等学校	吉村 幸三	マクロ・VBAを活用した用語問題演習ソフトの作成
	出水商業高等学校	水間 悦郎	情報モラル教育プログラムの作成
	国分中央高等学校	西野 信弥	教員・生徒が共有できる資格試験対策ソフトの作成



【研究内容の発表】



【作品の紹介】

研修報告書はWebページに掲載しますので、御覧ください。

## 長期研修者研究発表会

期日：平成25年2月22日（金）

平成24年度長期研修者11人が、自ら設定した研究主題に基づき、この1年で取り組んだ研究の成果を、約200人の学校関係者等の参加者の前で発表しました。



【研究発表会の様子】



【研究成果を発表する研修者】

研究報告書等はWebページに掲載しますので、御覧ください。

所属	氏名	教科等	研究主題
錦江町立大原小学校	江口 和洋	情報教育	教科指導における情報活用能力育成の在り方
南九州市立中福良小学校	田原 英樹	算数	数量についての理解を深める算数科学習指導の在り方
鹿児島市立紫原中学校	山端 真規子	数学	「数と式」「図形」の領域における、思考過程を整理し表現する生徒を育む指導の工夫
県立瀬尾高等学校	中島 康二	数学	「学び直し」に着目した指導の工夫
出水市立江内小学校	片平 嘉文	理科	子どもが明確な予想や仮説をもち、自ら考えを深める理科学習指導法の研究
霧島市立日当山小学校	田野辺 浩一	国語	子どもの主体性を高め、目的に応じて読む能力を育成する国語科学習指導の在り方
さつま町立盈進小学校	福元 真太郎	国語	文学的文章を主体的に解釈できる子どもの育成
出水市立出水中学校	穂田 美奈子	国語	古典を主体的に読むための国語科学習指導の在り方
県立牧之原養護学校	吉田 崇子	特別支援教育(数学)	知的障害のある生徒の生活に生かす力を育む「数量の基礎」の指導の在り方
鹿児島市立山下小学校	前田 博美	特別支援教育	共に学び合う姿を目指した交流及び共同学習
鹿児島市立鹿屋東中学校	西元 耕世	社会	公民的分野における議論を通じた言語活動の充実に関する研究

### 思い

未完成の魅力

次長兼研修部長 岩下 敏文

「皆さんには、未完成の魅力があります。」  
講話の中で、初任者の先生方に伝えた言葉である。

初任者にとって、先輩の先生方との経験や技術の差はどうしようもないものがある。しかし、自分も立派な教師になろうと、前向きに努力する姿や成長するプロセスが、子どもたちに対する大きな教育力となり、経験や技術を上回る効果をもたらす場合がある。それこそが、初任者がもっている「未完成の魅力」であると言ったのである。

ただ、この「未完成の魅力」というものは、必ずしも初任者だけのものではないようにも思う。

本年度も、六千人を超える先生方が、教育センターが実施する講座を受講され、それぞれの学校に帰っていかれた。

- ・ 新たな知識や情報を得るために

- ・ 自分の課題や疑問を解決するために など

学ぶ内容や方法はそれぞれだが、目的は一緒なのではないだろうか。それは、教師としての自分の資質をより一層高めるためであり、ひいては子どもたちの成長のためである。

時々、教育センターで実施されている研修講座等の様子を見せてもらっている。そこにはいつも、自分を高めようと熱心に受講されている先生方がいらっしやる。そのような姿を見ると、この先生方に教えてもらう子どもたちの、生き生きとした表情が浮かんでくる。それは正に、この先生方一人一人がもっておられる「未完成の魅力」が発揮されている場面であるように感じる。

このように、教師は誰しも、子どもたちのために自らを高め、成長しようと学び続ける姿勢をもっている。いや、もっていなければならぬのである。

教育センターは今、本年度の研修が全て終わり、静かで落ち着いた雰囲気の中にある。

しかし、そこには来年度の研修を待つ、凜とした佇まいを感じることが出来る。それは、これから来所されるであろう多くの先生方を迎える前に、しっかりと力を蓄えているようにも見える。更なる「未完成の魅力」の一助となるために。